

踏 み 跡 <My Mountains>

吾妻

安達太良山(薬師岳)ほか

No.314

平成22年7月7日

天気は快晴、平日なので朝の道路の混雑を避けて9時半に出発。千葉北 IC から入って首都高速経由で東北自動車道へ。夏休み前の平日で行楽客はまだ出ていないので、交通渋滞はなく気持ちが良い。所々で気ままに休憩をとり、関東平野の景色を楽しみながらのドライブ。幾重にも山が見えるようになり、車窓から見える景色が大きく変化するのが栃木県。そして、福島県に入ると山並みが手に取れるような近さになる。二本松 IC で下りて岳温泉へ。

チェックインには少々早いので、ゴンドラ（あだたらエクスプレス）の乗り場周辺を散策。山は中腹あたりより上は曇りがち。冬にはスキー場になる場所（あだたら高原スキー場）で、ゆるやかな草原で気持ちが良い景色が広がってはいるが、シロツメクサぐらいいしか咲いていなくてちょっと物足りない。

鏡池碧山亭に入り、毎度おなじみ温泉三昧の初日。夜は雨がけっこう降っていた。

平成22年7月8日

天気は晴れ、昨夜の雨は何だったのかと思うようなきれいな青空なので朝風呂のあと散歩。東から上った太陽が西側に広がる安達太良連峰を存分に照らして、さらに鏡池にその姿を映している。空の青さと山肌の褐色の色、そして麓の緑、すべてが一体となって奏でているような感じさえする。（写真下）

あだたらエクスプレスで上へ上がる。ゴンドラ終点から薬師岳へ、そしてその周辺の散策。激しい雲の動きで頂上の稜線が見えたり隠れたりを繰り返す。ハイマツ・シャクナゲの深い緑色が美しい。満開のシャクナゲのピンクの花びら達も朝の光に映えている。（下写真：薬師岳頂上からの眺め）



今回は安達太良山頂まで行くのはやめて、下りのゴンドラで下山。今晚の宿探しを済ませて次の目的地へ移動開始。

今晚は塩原温泉に泊ることにした。時間もたっぷりあるので、じっくり景色と寄り道を楽しみながら会津西街道経由（山王トンネル越え）で行くことに決定。

岳温泉に戻り、国道459号線を北へ進んで土湯へ、そして土湯トンネルを抜けて猪苗代町。

海のような広がり猪苗代湖の北岸を西へ進み会津若松に入り、阿賀野川に沿って南へ。盆地の暑さを抜けた後は水辺の清涼感を期待して、塔のへつりで大休止。

峡谷沿いの遊歩道は切り立った岩壁をへつるようにつけられており、風の通り抜けが少ないせいか期待したほどには涼しくなかった。（右写真）

会津田島あたりまで来ると、いくらか暑さが凌ぎやすくなってきた。山歩き・きのこ採りなどで何度も通った懐かしい会津西街道、山王トンネルを抜けて栃木県に入り、上三依から尾頭トンネルを越えて塩原温泉へ。

今晚の宿はホテル塩原ガーデン、今宵も温泉三昧。



平成22年7月9日

天気は快晴、すんなりと高速道路を突っ走って帰ってもつまらないので、味のある田舎景色を楽しみながら帰ることにした。

塩原温泉の中央部、塩ノ湯入口で箒川を渡って鹿股川の谷に入る。道はすぐに溪谷を離れて山に上るようになる。46年前にここへ来た時は、鹿股川の溪谷に沿った道を歩いて山越えしたが、この道は台風で崩壊してしまっただけで通行禁止になっていた。

大入道の北東に伸びる峠を越えて谷に下り、次の峠道を上り切ると八方ヶ原。

尾根上と矢板に下る斜面は、レンゲツツジが延々と連なり、その季節であれば素晴らしい光景と思われる。レンゲツツジもこれだけの広がりを見せてくれる所はめずらしいに違いない。季節が違って残念なかぎ

踏 み 跡 <My Mountains>



りである。(左写真)

バブル崩壊、形骸化した箱モノがいくつか並んでいるのが印象的だった。途中で「県民の森」の標識を見て立ち寄って見たが、これも全国植樹祭で膨大な投資をした後のなれの果てだった。一直線に下って矢板 IC をくぐり抜けて、片岡で国道 4 号線を横切り喜連川へ。

近頃 J R が分譲して有名になった温泉付き分譲地を覗いてみようと思って喜連川のニュータウンに寄って見た。ただ暑いだけで、何も見るべきものはなかった。さらに東へ進み、那珂川を渡って那珂川町（旧馬頭町）へ。新しくできた温泉を中心に置いて多少のにぎわいを得た馬頭の集落でウィンドウショッピングの後国道 293 号線に入り、鷲子山の南西にある伴睦峠を越えて茨城県に突入。県道常陸太田烏山線（29 号線）に入って、岩井橋で国道 118 号線に合流して久慈川沿いに南下。那珂 IC から常磐自動車道に入って柏 IC 経由で帰宅。福島県・栃木県・茨城県の景色を楽しみながらゆったりドライブの旅で締めくくった。関東平野の大きさと奥行きを感じることができ、それぞれの土地のそれぞれの夏景色を楽しむことができた。

以上